



日刊價シ日曜祭日翌  
日休刊一ヶ月廿五銭  
郵税十五銭一紙二銭  
廣告料 一行四十銭  
場所指定 二十銭増  
發行所 牛谷政事  
石城郡平井町二二三  
新いなき新聞社

### 座講識常

フアリスト・インプレ  
ッションは第一印象、  
初めて人と接するとき  
に得たる印象、フア  
リスト・ランなら映畫の  
封切、上映第一週のこと  
だ、フアリストは最  
初、第一、最上の意だ

合地は植田町の管で期日は來  
九月頃出馬頭数は百四五十頭  
に達するであらうと

十三の少年が  
勞銀を獻金  
植田署派で感心  
石城郡植田町の江畑農志勝長  
男高木勝雄(三)は同町小學校  
高等科一年在學中だが暑中休  
暇を機会に家人に語らず目下  
工事中の飯川橋の架換え内務  
省の道路改良工事に役出し三  
日間男子部七十五名、女子部  
八名柴田郡農技手及び内田書  
記の引率で矢吹ヶ原縣立修練  
農場に於て實業主義の尊き体  
験と共に精神鍛錬を受ける嘗  
であるか會費は白米三升持参  
尚ほ歸途には郡山市の縣農試  
本場と煙草専賣局の視察をな  
す確定往復共に自動車由

直りをしたがる憤憤がはれず自  
宅に歸つて前記の竹槍その他  
を携へ星を殺して終ふと駭出  
した血迷ひの飛沫に全然關係  
のない八巻方が災難を受けた  
もので加害者その他目下取調  
中である

がなかつたこと等で所記の影  
響と見られてゐる  
十五日乗車四二八五(四七  
六五) 降車五九一三(五二  
三九) 十六日乗車四〇七  
〇(二五二〇) 降車二九七  
六(三三三八)以上  
鐵路を枕に  
高いびき  
踊で疲勞の醉漢  
警越東線赤井、平間に於て昨  
二十二日朝六時十八分頃下り  
旅客一三車が進行の前方路側  
に大の字となつて寝てゐる男  
があるのを警笛を鳴らしたた  
が更に驚かず遂に急停車したる  
も前記の男を過して停車同  
人を取捕へた結果石城郡赤井  
村の南赤井煉瓦工場監督根本  
房吉と判つたが前夜泥酔して  
盆踊に加はり疲勞の末前後不  
覺で寝てゐたものであると

## 倭とカマスの古物で 十萬圓の收支經濟

### 再使用合格検査施行申請

石城郡は米穀類の消費地で大  
小麥及び茶種は大部分は地元  
生産を移出するもの殆んど皆  
無の實情にある爲め所記受檢  
の依並びに吹類は原則として  
新品であらねばならぬものを  
古物の見分けがつかぬ程度  
のみに限り古物の代用を默許  
されてゐるが此の取扱ひに乗  
る生産家の中には所記の條  
件を甚だしく脱したものがあ  
り斯くては移出等の場合面目  
を失するので縣檢平支所で

## 海軍航空隊 試験合格

警中在學の二生  
縣立警城中學五年生石城郡好  
間村の今新田道正(二〇)君と  
同校四年生同村澤小房酒井重  
男(二〇)君は過般甲種飛行練習  
生の第一次試験に及第し此の  
程第二次試験を受けてこれも  
見事に合格したので來る二十  
六日横須賀航空隊に入隊する  
ことになつた

## 星代議士の 議會報告

二十四、五の兩日  
第三區選出の政友會代議士星  
一氏の臨時議會報告演説會は  
既報の如く來る二十四、五の  
兩日石城郡下左記に於て備さ

## 長野靜岡方部から 馬の大量購入申込

石城郡の産馬者産組合では軍  
馬の需要旺盛から使用馬に不  
足を來たした長野及び靜岡縣  
その他から本縣に對して約二  
千頭の共同購入を申込まれた  
割當に對し成るべく多い應  
賣馬を出だすべく奔走されて  
ゐるが購買馬は二十以上のも

## 仙鐵局長の 初巡視

明日四倉泊り  
仙台鐵道局の新任局長上村市  
太郎氏は明日二十四日管内の初  
巡視をなし同日午後六時二十  
六分警越東線平澤着で管外の  
同線を訪ひ四時三十分平澤  
發下り四倉驛に下車當夜  
は同町柏屋旅館泊翌二十五日  
同驛以北の常磐線各驛を巡視  
歸局の豫定である

## 平消防組の異動

### 部長二名小頭一名勇退す

平消防組では庶務部長鈴木長  
三郎氏三十五年勤績並びに小  
頭高根澤長太郎氏四十二年勤  
績が共に勇退し今日までの殆  
んど全人生を消防に捧げた功  
績をたゞへられてゐるが會計  
部長堀江正茂氏も後進の途を  
開いて近く退職することにな  
つた之れにより小頭三井富吉  
氏は部長に昇進し佐長織田万  
次郎氏及び同金成泉一郎氏は  
小頭に消防手からは三十餘年  
勤績の古山吉之助氏の外山崎  
孝平、伊藤退之助の兩氏も長  
に昇進したが次へで各部の機  
構を左記の如く改めた

### 經更活動寫眞

石城郡玉川村農會主催經濟更  
生活動寫眞會は來る二十六日

### 矢吹ヶ原で 修練受講

石城郡農會の八十餘名  
石城郡農會の中堅農民養成講  
習會では來る二十七日から四  
日間男子部七十五名、女子部  
八名柴田郡農技手及び内田書  
記の引率で矢吹ヶ原縣立修練  
農場に於て實業主義の尊き体  
験と共に精神鍛錬を受ける嘗  
であるか會費は白米三升持参  
尚ほ歸途には郡山市の縣農試  
本場と煙草専賣局の視察をな  
す確定往復共に自動車由

### 土調の委員會

平稅務署管内土地賃賃價格調  
査委員會は明日二十四日から同  
署樓上で開かれると

### 旅客減少

時局柄の遠慮で  
平署に於ける去る孟蘭盆の旅  
客は左記の如く舊十五日一萬  
九千八百名で前年當日より百  
九十四名を増加したが十六日  
は七千六百七十八人で前年よ  
り八百七十五人を減少した原  
因は一般の時局柄の遠慮があ  
つた關係で名物デヤンガラ念  
佛の如きも例年より出場が少  
なく更に國民の緊張に目立つ  
て見えたものは從來の様な  
ざけた假裝や路上に酔つ拂ひ

### 荒木技手夫人

石城郡小川江農水水利組合専  
屬土木技手荒木喜太郎氏夫人  
なみ子嬢は病氣療養中であつ  
たが藥石効なく昨二十二日午  
後一時遂に永眠した葬儀は明  
二十四日午後二時自宅出棺平  
市營火葬場で佛式執行すると  
今晚は北の風、曇後驟雨  
明日は南の風、曇後晴  
(小名濱測候所)

### 平市の 條例規則

(一) 特別戸數納稅條例  
第一條、本市ノ戸數納稅ハ大  
正十五年法律第二十四號ニ  
依り市內ニ於テ一戸ヲ構フ  
ル者及一戸ヲ構ヘザルモ獨  
立ノ生計ヲ營ム者ニテ之ヲ賦  
課ス、  
第二條、戸數納稅ハ年稅トシ  
四月一日現在ニ依リテ之ヲ賦  
課ス、  
第三條、戸數納稅納稅義務者  
ハ毎年四月二十日迄ニ所得  
額及資産ノ狀況ニ依リテ力  
算定標額申告書ヲ市長ニ提  
出スベシ、  
第四條、地方稅ニ關スル法  
律施行規則第二十四條ノ規  
定ニヨリ所得額ノ控除ヲ受  
ケントスル者ハ前條ノ申告  
ト同時ニ申請スベシ、  
第五條、戸數納稅ノ賦課期日  
後新ニ納稅義務發生シタル  
者ハ事實ヲ生ジタル日ヨリ

### 平市の 條例規則

(二) 特別戸數納稅條例  
第一條、本市ノ戸數納稅ハ大  
正十五年法律第二十四號ニ  
依り市內ニ於テ一戸ヲ構フ  
ル者及一戸ヲ構ヘザルモ獨  
立ノ生計ヲ營ム者ニテ之ヲ賦  
課ス、  
第二條、戸數納稅ハ年稅トシ  
四月一日現在ニ依リテ之ヲ賦  
課ス、  
第三條、戸數納稅納稅義務者  
ハ毎年四月二十日迄ニ所得  
額及資産ノ狀況ニ依リテ力  
算定標額申告書ヲ市長ニ提  
出スベシ、  
第四條、地方稅ニ關スル法  
律施行規則第二十四條ノ規  
定ニヨリ所得額ノ控除ヲ受  
ケントスル者ハ前條ノ申告  
ト同時ニ申請スベシ、  
第五條、戸數納稅ノ賦課期日  
後新ニ納稅義務發生シタル  
者ハ事實ヲ生ジタル日ヨリ

### 平市の 條例規則

(三) 特別戸數納稅條例  
第一條、本市ノ戸數納稅ハ大  
正十五年法律第二十四號ニ  
依り市內ニ於テ一戸ヲ構フ  
ル者及一戸ヲ構ヘザルモ獨  
立ノ生計ヲ營ム者ニテ之ヲ賦  
課ス、  
第二條、戸數納稅ハ年稅トシ  
四月一日現在ニ依リテ之ヲ賦  
課ス、  
第三條、戸數納稅納稅義務者  
ハ毎年四月二十日迄ニ所得  
額及資産ノ狀況ニ依リテ力  
算定標額申告書ヲ市長ニ提  
出スベシ、  
第四條、地方稅ニ關スル法  
律施行規則第二十四條ノ規  
定ニヨリ所得額ノ控除ヲ受  
ケントスル者ハ前條ノ申告  
ト同時ニ申請スベシ、  
第五條、戸數納稅ノ賦課期日  
後新ニ納稅義務發生シタル  
者ハ事實ヲ生ジタル日ヨリ

### 平市の 條例規則

(四) 特別戸數納稅條例  
第一條、本市ノ戸數納稅ハ大  
正十五年法律第二十四號ニ  
依り市內ニ於テ一戸ヲ構フ  
ル者及一戸ヲ構ヘザルモ獨  
立ノ生計ヲ營ム者ニテ之ヲ賦  
課ス、  
第二條、戸數納稅ハ年稅トシ  
四月一日現在ニ依リテ之ヲ賦  
課ス、  
第三條、戸數納稅納稅義務者  
ハ毎年四月二十日迄ニ所得  
額及資産ノ狀況ニ依リテ力  
算定標額申告書ヲ市長ニ提  
出スベシ、  
第四條、地方稅ニ關スル法  
律施行規則第二十四條ノ規  
定ニヨリ所得額ノ控除ヲ受  
ケントスル者ハ前條ノ申告  
ト同時ニ申請スベシ、  
第五條、戸數納稅ノ賦課期日  
後新ニ納稅義務發生シタル  
者ハ事實ヲ生ジタル日ヨリ

# 産業

## 馬の炭疽病 病状と対策

馬の炭疽病で最も恐るべき炭疽病が今夏埼玉縣下に発生し百頭に近い病馬を出だし農林省及び陸軍省から夫々係官出張調査防遏に盡してゐるが病状手當等は左の如く飼育家は此の際發病地との交通を絶ち豫防注射をなすことが肝要である。

病状、普通症は急性または悪急性のもので初兆は攝氏卅九度五分から四十一度五分の傳染熱、細數の脈搏、筋肉震動、皮温不整などある、頭部粘膜炎は藍赤色を呈し少し黄色を帯ぶ、時としては粘膜炎が蒼白のものがある、また兩眼から流涙をする、精神は沈鬱となり眼公鈍くよろよろと歩行する、又これに反し腦刺戟のため腦炎に於けるが如く不安興奮し癡れんする此の病氣の特徴は痲痺で呼吸は牛の炭疽と同様に非常に促進する、咽喉には腫れが現はれ食物の嚥下困難、流涎、呼吸困難または窒息の徴を呈する、次第に衰弱し六時間から三時間ぐらゐで死亡する、最も急性なものでは十五分が卅分で卒死する、治癒するものは極めて稀で皮膚は腫たれ胸部の下面、後肢の内面、陰間など現はれ後肢に出ると跛行する、なほ弛張性炭疽と云ふのは体温が一巨昇り再び下降しこれが發作數日後再び反覆し遂に虚脱して死す。

耐應策、豫防が何より大切屍体は滅却し厩舎を消毒する屍体は焼却が一番よく、消毒

は昇水、クレオリン、クロール石灰水、石灰乳を併用する、但し昇水の消毒後は2%の硫酸溶液で洗つて無毒ならしむ、尙當時は排水を良好にし疑はしき牧場には放牧せぬこと又井水も飲ませぬ方がよい、轉地は最も効果がある外には豫防薬があるから其れを服用させる(完り)

油問屋 關内油店 電話長 16 平市

支店 支那山形市駅前通 電話長三二八

支店 支那山形市本町 電話長三二八

支店 支那山形市本町 電話長三二八

支店 支那山形市本町 電話長三二八

支店 支那山形市本町 電話長三二八

デーリーサービス

日	品目	定価	品目	定価
月	カツレツ	三	チキン	三
火	チヤップ	三	カツ	三
水	エビ	三	ハヤシ	三
木	メンチ	三	オム	三
金	コロッケ	三	ラム	三
土	フライ	三	ライス	三
日	ランチ	三	ライス	三

産科 院長 木村寅次郎

婦人科 醫學博士 内木宗八

外科 藥劑師 大岩俊雄

藥局

平市新川町九一

入院隨意 病室完備

木村病院 電話一六四番

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎

平市田町 電話六九一

院醫尻江

「看護見習募集」

明雲堂眼科醫院 (電話六六九)

入院應需(自炊の便あり)

平田町(三丁目裏川岸通)

特にマルトモのランチは...

材料のおまかせを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出来ますので御華客様からいつも御好評を戴いて居ります

御来店御召上りの時も御來客様用仕出し等總べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節の材料で美味快速なものを調理進上出来ましますのでまた非常に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO

堂食モトルマ

内科、小兒科 平市田町 電話五一三番

外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

高久病院 院長 醫學士 高久忠

北川外科

外科一般 内臓外科

レントゲン科 泌尿器科

平市新川町二七(電話四六四)

血液検査毎日

イツテモ 入院デキマス

醫學博士 北川芳夫 技師 小林良次

表代城磐 酒銘

味美 經濟 油醬ルマヤ

合名會社 山崎 番十 電話

齋藤齒科醫院

東京齒科 醫學士 齋藤賢三

平市田町(藤田女學校前)

診療科目 口腔外科、補綴科、保存科、齒列矯正科、小兒齒科、(其他齒科一般)

毎日晝夜診療 日曜午後休み

中野齒科醫院

院長 日本齒科 醫學士 中野真次

醫學士 西川誠

電話五〇九番

診療科目 一、齒科 一般 保存科、補綴科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、一、口腔外科 一、レントゲン科

和洋鋼鐵、金物問屋

店商屋釜

九九・九電

大見切

奉仕品 婦人洋傘 子供帽子 清涼着

是非御來店を 御待ちして居ります

ツルヤ 電話一四〇